

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場会社名 株式会社 日本トリム 上場取引所 東
コード番号 6788 URL <https://www.nihon-trim.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田原 周夫
問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員管理本部長 (氏名) 大黒 康弘 TEL 06-6456-4600
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,949	9.0	576	△25.4	627	△22.9	401	△29.4
2025年3月期第1四半期	5,459	13.8	772	39.2	814	37.5	568	33.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 306百万円(△50.8%) 2025年3月期第1四半期 623百万円(30.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	52.40	—
2025年3月期第1四半期	74.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	34,806	24,546	66.1	3,020.09
2025年3月期	35,353	25,546	67.8	3,125.80

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 23,004百万円 2025年3月期 23,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	130.00	130.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	130.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	10.0	1,750	△5.7	1,830	△6.1	1,180	△9.7	156.35
通期	25,000	11.3	3,540	7.7	3,700	4.7	2,300	2.6	304.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	8,656,780株	2025年3月期	8,656,780株
2026年3月期1Q	1,039,456株	2025年3月期	989,256株
2026年3月期1Q	7,656,081株	2025年3月期1Q	7,665,020株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、「株式給付信託(J-ESOP)」及び「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、“快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する”という企業理念のもと、健康・医療をメインテーマに事業を展開しております。電解水素水、電解水透析、再生医療関連等の事業を通じて、ひとびとのWell-beingに貢献することが我々の使命です。当社の電解水素水整水器は、「胃腸症状の改善」に効果が認められた管理医療機器であり、また、使用する浄水カートリッジは、近年、世界的な環境問題として注目を集めるPFAS（ピーファス：有機フッ素化合物の総称）を除去する性能(*1)も備えており、健康と共に安心して暮らせる環境づくりにも貢献しております。「社会は何時の時代も我々の製品を必要としている」をスローガンに、サステナブルな社会の実現に貢献し、当社グループの持続的な企業価値向上、株主価値向上を果たしてまいります。

(*1)JWPAS B（浄水器協会自主規格）に規定されている試験方法により浄水能力試験を実施。PFASのうち、特に有害性が高いとされるPFOS、PFOAについて、当社浄水カートリッジ全種で除去率80%以上を確認しております（JWPAS B 210試験結果）。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は5,949百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は576百万円（同25.4%減）、経常利益は627百万円（同22.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は401百万円（同29.4%減）となり、売上高につきましては四半期過去最高を更新いたしました。利益面につきましては前期を下回る結果となりました。営業利益、経常利益につきましては、更なる業容拡大に向けた人的投資や、インドネシアのボトルドウォーター事業における広告費用増によるものです。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前述の費用増に加え、前期において投資有価証券売却益149百万円の特別利益があったためです。これらの要因は期初計画には織り込んでおり、当第1四半期は計画に沿った進捗となっております。

当社グループは、2028年3月期連結売上高310億円を目標とする中期経営計画を策定し、当期はその初年度となります。整水器販売事業を柱に、ボトルドウォーター事業、電解水透析事業、再生医療分野の各事業も積極的に展開し、中期経営計画の達成並びに中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

[ウォーターヘルスケア事業]

整水器販売事業の売上高は2,366百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

直接販売部門では、主軸である職域販売部門（DS事業部）において、注力しておりますスポーツ分野、美容分野での販路開拓や、営業力・販売力強化への取り組みが奏功した結果、売上高が前年同期比15.3%増と好調に推移いたしました。また、本年6月には受注台数で月間過去最高を更新しており、7月以降の売上に反映されます。引き続き販売効率向上に取り組むとともに、人員増にも注力してまいります。

間接販売である卸・OEM部門（MS事業部）では、一部の既存代理店向けの出荷が鈍化した結果、売上高が前年同期比29.1%減となりました。既に代理店への販売支援強化に取り組んでおり、第2四半期以降は回復していく見込みです。

ストックビジネスである国内カートリッジ販売は、売上高が1,452百万円（同2.5%増）と堅調に推移いたしました。引き続き、定期的な情報配信やフォロー架電などの顧客サービスを強化し、安定した収益基盤の維持・拡大に努めてまいります。

インドネシアでボトルドウォーター事業を展開するPT. SUPER WAHANA TEHNOの売上高が1,074百万円（前年同期比40.4%増）となりました。マーケットシェア拡大のため、当期は前期以上にマーケティング施策を強化する計画で、TVCMの実施や、SNS広告、プロモーション活動の強化が奏功し、引き続き順調に伸長しております。費用は先行しますが次期以降の飛躍に向け、確かな手応えを感じております。売上の拡大に並行して新たな自社工場建設についても協議を進めており、生産能力の増強とともに経営効率向上も目指してまいります。

以上の結果、ウォーターヘルスケア事業の売上高は5,196百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は548百万円（同20.5%減）となりました。セグメント利益の減益は、上述した人的投資拡大やインドネシアのボトルドウォーター事業における広告費用増によるもので、期初計画に織り込んでいるものです。

〔医療関連事業〕

電解水透析(*2)事業では、本年6月に1施設の新規導入があり現在35施設、1,093床となりました。約3,300名の方が電解水透析治療を受けられております。同月、開催されました「第70回日本透析医学会学術集会・総会」において、電解水透析関連で5演題が発表されました。中でも、ランチョンセミナー「電解水透析の新たな可能性」には総勢300名以上が出席され、電解水透析の認知は着実に向上しております。本総会后、個人用R0装置の購入を決められた施設や、見積依頼をいただいた施設もあり、今後も透析関連の学会への出展やセミナー実施などを通じて電解水透析の普及に邁進してまいります。

(*2)電解水透析とは、透析治療で使われる透析液の希釈水を、当社の技術による電解R0水にすることで、透析液に水素を溶存させた次世代新規治療法。世界で初めて溶媒である水の機能に着目した従来にない技術です。通常透析と比べ、投薬量減少や、透析患者の合併症併発率や粗死亡率が低いというデータを取得しており、注目を集めております。

再生医療関連事業では、ステムセル研究所（東証グロース、証券コード：7096、当社持分70.6%）の売上高が四半期過去最高を更新しました。同社は2026年3月期第1四半期決算発表を当社と同じく8月7日に実施しておりますので、詳細は同社決算短信をご参照ください。

以上の結果、医療関連事業の売上高は753百万円（前年同期比8.5%増）、セグメント利益は28百万円（同66.0%減）となりました。セグメント利益の減益は、ステムセル研究所における人的投資の拡大や営業体制の再構築、シンガポールでの事業立ち上げに関する費用発生によるもので、期初計画に織り込んでいるものです。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産は34,806百万円となり、前連結会計年度末に比べ547百万円減少（前期比1.5%減）いたしました。主な要因は、投資有価証券が707百万円、受取手形及び売掛金が472百万円増加した一方、現金及び預金が1,732百万円減少したことによるものであります。

負債は10,259百万円となり、前連結会計年度末に比べ451百万円増加（同4.6%増）いたしました。主な要因は、未払法人税等が256百万円、賞与引当金が125百万円減少した一方、流動負債のその他に含まれる未払金が304百万円、預り金が121百万円、前受金が116百万円及び買掛金が105百万円増加したことによるものであります。

純資産は24,546百万円となり、前連結会計年度末に比べ999百万円減少（同3.9%減）いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益401百万円の計上により増加した一方、配当金の支払い1,077百万円、自己株式の増加205百万円及び為替換算調整勘定が69百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の業績予想につきましては、2025年5月13日「2025年3月期決算短信」にて公表しております通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,394,490	13,662,418
受取手形及び売掛金	6,343,591	6,815,634
有価証券	1,001,865	1,001,865
製品	627,719	647,299
原材料及び貯蔵品	1,104,771	1,030,554
その他	304,347	307,861
貸倒引当金	△26,437	△27,051
流動資産合計	24,750,348	23,438,582
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,983,117	2,979,695
その他（純額）	2,004,225	1,950,623
有形固定資産合計	4,987,342	4,930,318
無形固定資産		
のれん	311,791	302,511
その他	318,356	317,698
無形固定資産合計	630,147	620,209
投資その他の資産		
投資有価証券	1,306,584	2,013,674
長期預金	1,500,000	1,500,000
その他	2,228,856	2,353,224
貸倒引当金	△49,500	△49,500
投資その他の資産合計	4,985,940	5,817,398
固定資産合計	10,603,431	11,367,926
資産合計	35,353,779	34,806,508
負債の部		
流動負債		
買掛金	589,774	694,838
未払法人税等	532,132	275,341
前受金	4,072,488	4,188,853
賞与引当金	200,425	75,080
製品保証引当金	85,000	90,000
その他	1,675,210	2,184,098
流動負債合計	7,155,031	7,508,212
固定負債		
長期借入金	1,131,089	1,115,747
株式報酬引当金	177,454	200,261
役員退職慰労引当金	260,406	270,289
退職給付に係る負債	367,842	375,592
その他	715,786	789,459
固定負債合計	2,652,578	2,751,349
負債合計	9,807,610	10,259,561

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,597	992,597
資本剰余金	1,864,182	1,852,072
利益剰余金	24,391,935	23,715,767
自己株式	△3,408,285	△3,614,099
株主資本合計	23,840,429	22,946,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,881	△9,850
為替換算調整勘定	108,612	38,749
退職給付に係る調整累計額	33,004	29,740
その他の包括利益累計額合計	126,735	58,638
非支配株主持分	1,579,004	1,541,969
純資産合計	25,546,169	24,546,946
負債純資産合計	35,353,779	34,806,508

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,459,216	5,949,878
売上原価	1,636,913	1,905,168
売上総利益	3,822,303	4,044,709
販売費及び一般管理費	3,050,157	3,468,315
営業利益	772,145	576,394
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,856	23,703
持分法による投資利益	1,374	—
不動産賃貸料	21,004	21,004
為替差益	362	—
固定資産売却益	9,710	7,761
その他	2,249	7,162
営業外収益合計	47,556	59,631
営業外費用		
支払利息	286	1,358
持分法による投資損失	—	664
貸与資産減価償却費	3,664	3,485
為替差損	—	24
貸倒引当金繰入額	300	—
その他	1,099	2,811
営業外費用合計	5,351	8,344
経常利益	814,351	627,681
特別利益		
固定資産売却益	—	487
投資有価証券売却益	149,274	—
特別利益合計	149,274	487
税金等調整前四半期純利益	963,625	628,169
法人税、住民税及び事業税	237,587	220,136
法人税等調整額	62,343	△19,476
法人税等合計	299,930	200,659
四半期純利益	663,694	427,509
非支配株主に帰属する四半期純利益	95,123	26,299
親会社株主に帰属する四半期純利益	568,571	401,210

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	663,694	427,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103,348	6,684
為替換算調整勘定	61,944	△122,953
退職給付に係る調整額	586	△3,795
持分法適用会社に対する持分相当額	358	△1,036
その他の包括利益合計	△40,457	△121,102
四半期包括利益	623,236	306,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	531,714	332,797
非支配株主に係る四半期包括利益	91,522	△26,389

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ウォーターヘルスケア事業」、「医療関連事業」の2つの事業セグメントを報告セグメントとしております。

「ウォーターヘルスケア事業」は、整水器販売事業及びそれに付随する業務を行っております。「医療関連事業」は、医療・予防医療分野や再生医療分野における事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ウォーター ヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,765,007	694,208	5,459,216	—	5,459,216
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,765,007	694,208	5,459,216	—	5,459,216
セグメント利益	689,423	82,722	772,145	—	772,145

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ウォーター ヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,196,829	753,049	5,949,878	—	5,949,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,196,829	753,049	5,949,878	—	5,949,878
セグメント利益	548,269	28,125	576,394	—	576,394

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	73,243千円	73,101千円
のれんの償却額	9,279千円	9,279千円